

明けましておめでとうございます。
令和になり最初のお正月ですが、皆さまはどのようにお過ごしでしょうか。
さて、1月号のテーマは「高齢者の心不全について」と「地域包括ケアと在宅医療について」になります。
大変役立つ内容となっておりますので、是非ご一読ください。



結いの心を大切にした郷、日本の原風景「白川郷」
平尾 隆

相模原市長 本村 賢太郎



市民の皆さまにおかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月の台風第19号による記録的な豪雨により被災された皆さまには、いまだに不自由な生活を強いられる状況の中で、新年を迎えられた方もいらっしゃると思います。引き続き、市民生活と地域経済・インフラの再建等、復旧・復興に向け、全力で取り組んでまいります。

昨年4月の市長就任以来、「市民に開かれた市政」「持続可能なまちづくり」「市民が誇れるまちづくり」を基本的な考え方として、市政運営を進めてまいりました。

指定都市移行10周年を迎える本年につきましても、引き続きそうした考え方に立ち、市民の皆さまとの対話、SDGsの推進、シビックプライドの醸成、人権尊重の取組などを進めてまいります。

また、本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。市民の皆さまに、市内がコースとなる自転車ロードレース競技の魅力にぜひ触れていただくとともに、大きな感動・夢・希望が未来へのレガシーとなるよう、様々な取組を進めてまいります。

保健・医療・福祉の分野におきましては、市民ニーズ等に合わせた組織改編を行い、「笑顔で健やかに暮らせるまち」の実現に向けて、関係団体の皆さまとの連携をより一層深め、地域包括ケアシステムの推進などに取り組んでまいります。

新しい年が、市民の皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

一般社団法人相模原市医師会 会長 細田 稔



明けましておめでとうございます。

皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新しい天皇が御即位され30年という平成の時代が終わりを告げ、令和という新時代の幕開けとなる大きな変化がございました。

私は、昨年6月に就任いたしました。令和という新時代にあって、会員とともに市民医療を取り巻くさまざまな課題に取り組んでまいり所存でございます。

さて、私ども相模原市医師会は、相模原市や関係団体と連携を図りながら、急病診療事業をはじめ各種がん検診、特定健診、予防接種、乳幼児健診、学校保健、在宅ケア対策、訪問看護ステーションの運営などさまざまな形で地域の保健・医療・福祉の増進に努めているところでございます。本年も市民の皆さまの健康を守るべく、会員一丸となり各種事業を進めてまいりますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本紙では、市民の皆さまが健康で安心した生活を送れるよう健康増進に役立つ情報を本年も提供してまいりますので、どうぞご愛読ください。

結びとなりますが、本年も市民の皆さまが、毎日健康で元気よく活躍されることを祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

